

**令和元年度
教育行政の成果と課題について（中間評価）**

- 令和元年度の事務対象 中間評価票 -

**令和2年2月
佐渡市教育委員会**

目 次

■ 令和元年度の事務対象 中間評価票

① 総合教育センター事業（学校教育課）	1
② 総合教育センター事業（学校教育課）	3
③ 総合学習支援事業（学校教育課）	4
④ I T設備整備事業（学校教育課）	5
⑤ 学校耐震補強事業（教育総務課）	6
⑥ 心の教育支援事業（学校教育課）	7
⑦ 生涯学習事業（社会教育課）	9
⑧ スポーツ推進事業（社会教育課）	10
⑨ 読書推進事業（社会教育課）	11
⑩ 博物館・資料館管理運営事業（社会教育課）	13
⑪ ジオパーク推進事業（社会教育課）	15
⑫ 社会教育事業（社会教育課）	16
⑬ 学校教育振興事業（学校教育課・社会教育課）	17

■ 施策実施上注目すべき数値の一覧（H31 数値）

	18
--	----

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課
事務事業名	総合教育センター事業		
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進		
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策1 学ぶ意欲を高め確かな学力を育成する教育】		
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催し、学力の向上と家庭学習習慣の定着を図る。		
対象	教職員、児童、生徒		
意図（目標）	教職員の指導力向上により、児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2 年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
「全国学力・学習状況調査」で全国平均以上の教科・科目の割合（小・中）		%	25	75	40	75
算式	全国平均以上の教科数／実施教科数					
標準学力検査 N R T で偏差値 50 以上の教科の割合（小・中）		%	90	90	3 月に結果	100
算式	偏差値 50 を上回った教科数／実施教科数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度(評価年度)		2年度 目標値
	指標	目標(成果)指標	単位		目標値	実績値	
1	全国学力・学習状況調査(小・中学校)						
	指標	全国平均正答率+0.5以上(小学校)	%	A+1.3 B+0.3	+0.5	+3.2	+0.5
		上段:国語、下段:算数		A-0.5 B-0.5	+0.5	-2.6	+0.5
		全国平均正答率以上(中学校)		A-0.1 B-1.2	±0.0	+0.2	±0.0
		国語:国語、下段:数学		A-1.1 B-2.9	±0.0	-5.0	±0.0
2	標準学力検査NRT(小・中学校)						
	指標	偏差値53以上(小学校2教科)の割合 偏差値50以上(中学校5教科)の割合	%	50 87	100 100	3月に結果	100 100
3	家庭学習習慣の確立(全国学調の質問紙回答状況)						
	指標	1時間以上70%(小学校) 1時間以上70%(中学校)	%	67.2 64.2	70 70	69.9 53.7	70 70
4	総合教育センター事業			12	12	12	12
	指標	センター主催研修会実施回数	回		(420人)	(451人)	(450人)

◆ C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	全国学力・学習状況調査（小・中学校）	【成果】 今年度から基礎的内容（A問題）と活用的な内容（B問題）を一体的に問う問題形式に変わった。国語は小中ともに全国平均を上回った。 【課題と対策】 小学校算数、中学校数学は全国平均を下回った。特に数学は全国との差が開いた。基礎的な内容についての定着が課題である。 結果を受けて、臨時校長会を実施し今後の学力向上対策について協議を行った。数学学力向上プロジェクトにおいても、数学担当者間で対策について協議を行った。 今後は、学力向上のための対策として、補充学習の充実を図るための研修会を開催し、学力向上のための具体策を実施する。
2	標準学力検査NRT（小・中学校）	【成果】 3月に結果が出る。 【課題と対策】
3	家庭学習習慣の確立（全国学調の質問紙回答状況）	【成果】 小学校では、目標値をほぼ達成できた。各校における学校評価項目への位置付け、全校体制での取組が成果として表れている。 【課題と対策】 家庭学習習慣確立に向けた取組について、各校が学校評価を活用し見直し改善を図るよう支援していく。 中学校では、これまで数値が向上傾向であったが、今年度は大きく数値を落とした。（昨年度-10.5）校長会学力向上委員と連携し、数値が下降した原因を分析するとともに、家庭学習習慣確立のための具体策を実施する。
4	総合教育センター事業	【成果】 目標回数は実施できた。研修会には延べ451人が参加し、新学習指導要領の全面実施に向けた授業改善、指導力向上に貢献できた。 【課題と対策】 新学習指導要領の主旨に沿った現場に活かせる実効ある研修を継続実施する。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課
事務事業名	総合教育センター事業		
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進		
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策2 豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育】		
事業概要	教育センター主催研修講座等、教員の研修講座を開催する。		
対象	教職員、児童、生徒		
意図（目標）	児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。		

◆D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度(評価年度)		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
すべての学級で道徳の授業を公開している割合（小・中）		%	86	100	100	100
算式	実施校数／市内小中学校数					
人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）		%	100	100	100	100
算式	実施校数／市内小中学校数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度(評価年度)		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	道德教育推進事業			86	100	100	100
	指標	すべての学級で道德の授業を保護者や地域に公開している割合（小・中）	%				
2	人権教育、同和教育推進事業			100	100	100	100
	指標	人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）	%				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	道德教育推進事業	【成果】 道德教育推進教師を対象とした研修講座を通し、道德の教科化に対する家庭、地域の理解や連携の必要性について各校に理解浸透できた。 【課題と対策】 特別の教科としての道德は始まったばかりである。指導法や家庭、地域との連携の在り方について研修を継続していく。
2	人権教育、同和教育推進事業	【成果】 すべての学校で年2回以上の人権教育、同和教育に関する研修会を実施した。人権教育強調週間等において「生きるⅠ～Ⅴ」等を活用した公開授業や指導案づくりが、すべての学校で実施できた。 【課題と対策】 今後も公開授業や指導案づくりが全学校で継続して実施できるよう支援、啓発していく。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課
事務事業名	総合学習支援事業		
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進		
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策6 佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育】		
事業概要	将来、佐渡に貢献できる人材を育成するため、小中学校において、郷土を愛し、夢と誇りを持ち、職業観を育むキャリア教育を推進する。		
対象	教職員、児童、生徒		
意図（目標）	・「佐渡学」を中核とした体験的な郷土学習への取組について指導、支援する。 ・中学校における職場体験活動を充実させるため、課題解決学習を取り入れた指導への支援と受入企業の拡充を進める。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度(評価年度)		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）		%	76	100	100	100
算式	実施中学校／全中学校					
全学年で「キャリア教育のグランドデザイン」に基づき、キャリア教育を実施している割合（小・中）		%	100	100	100	100
算式	実施小・中学校／全小・中学校					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施（中学校）			69	100	100	100
	指標	実施中学校／全中学校	%				
2	小学5・6年生用キャリア教育副読本「みらい'sノート」活用（小学校）			100	100	91	100
	指標	活用小学校／全小学校	%				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施	【成果】 佐渡市が進める課題解決型職場体験を実施するために事業所と合同で準備会を行い、スムーズに活動することができた。 【課題と対策】 モデル校指定がなくても持続可能な活動になるように、学校訪問や研修会の開催などの支援を継続していく。
2	小学5・6年生用キャリア教育副読本「みらい'sノート」活用	【成果】 小学低学年から学んできた佐渡学等キャリア教育の集大成として「みらい'sノート」を活用し、キャリアパスポートとして中学校に引き継ぐことができた。 【課題と対策】 「みらい'sノート」を有効活用するために、教育課程に位置付け、計画的な活用を促す指導を継続する。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課
事務事業名	I T設備整備事業		
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進		
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界に羽ばたく人材を育成する教育】		
事業概要	電子黒板等の I C T機器導入を計画的に進める。		
対象	教職員、児童、生徒		
意図（目標）	I C T機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童生徒に分かりやすい授業を提供し学力向上を図る。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
I C Tの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）		%	5	50	54	100
算式	実施校数／市内小中学校数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	電子黒板等 I C T機器設置事業			5	50	54	100
	指標	設置校数／市内小中学校数	%				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	電子黒板等 I C T機器設置事業	【成果】 今年度、17校（小学校10校、中学校7校）に電子黒板等の I C T機器を設置した。昨年度と合わせ市内19校に設置済みである。設置した学校を対象に操作活用研修を実施し、各校で積極的に授業で活用している。 【課題と対策】 来年度、市内残り16校に電子黒板等の I C T機器を設置する。また、国の方針を受け、タブレットの導入や無線 L A N等の環境整備も進めていく。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	教育総務課
事務事業名	学校耐震補強事業		
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進		
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】		
事業概要	市立小中学校の耐震化		
対象	市立小中学校における校舎棟、体育館棟		
意図（目標）	耐震性能の向上を図り、今後予想される地震災害に対して児童・生徒・教員等の生命を守るとともに市有行政財産の強化を図る。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
小中学校の耐震化率		%	98	100	99	100
算式	非木造 耐震化済み施設数／全体施設数					

枝 番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	小学校耐震補強事業			96	100	98	100
	指標	小学校の耐震化率	%				
2	中学校耐震補強事業			100	100	100	100
	指標	中学校の耐震化率	%				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝 番	細事業名	成果及び課題と対策
1	小学校耐震補強事業	【成果】 八幡小学校校舎棟の耐震補強工事を実施した。 八幡小学校体育館棟の耐震補強工事における設計業務を実施した。 【課題と対策】 財源として、令和2年度の学校施設環境改善交付金と過疎債を計画している。国庫補助における耐震化は優先順位が高いが、過疎債については、借入枠内に納まらない可能性がある。
2	中学校耐震補強事業	【成果】 耐震化完了 【課題と対策】

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課
事務事業名	心の教育支援事業		
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進		
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策9 安心な学校をつくるための生徒指導体制】		
事業概要	・心の教室相談員事業（中学校6校に相談員を配置） ・不登校児童生徒訪問指導事業（不登校児童生徒の家庭を訪問） ・適応指導教室運営事業（あすなろ教室の運営、いじめ不登校電話相談）		
対象	教職員、児童、生徒		
意図（目標）	・「佐渡市いじめ防止基本法」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりを支援する。 ・不登校児童生徒への的確な対応を進めるため、新潟県が示す「子どもとともに1・2・3運動」佐渡市共通の「心の健康チェック」の活用を徹底するとともに、適応指導教室や訪問相談員との連携を進める。		

◆ D o	事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度(評価年度) 目標値	2年度 目標値
算式	指標の算式			実績値	
いじめの解消率		%	84	88	100
算式	いじめ解消数／いじめ発生数			(2学期末)	
不登校の発生率		%	2.4	2.1	1.5
算式	不登校児童生徒数／児童生徒数			(2学期末)	

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度(評価年度) 目標値	実績値	2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位				
1	「心の教室相談員」事業			554	500	337 (2学期末)	500
	指標	相談員1名当たりの相談生徒延べ人数	人				
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業			46.8	50.0	58.9 (2学期末)	60.0
	指標	欠席日数減少者数／前年度不登校者数	%				
3	「心の健康チェック」推進支援事業			0.91	0.84	0.81 (2学期末)	0.80
	指標	新規不登校者数／児童生徒数	%				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	「心の教室相談員」事業	【成果】 「心の教室相談員」は、いじめの早期発見、孤立しそうな子どもたちの心の居場所として大きな効果があった。 【課題と対策】 未然防止、早期対応のため、小学校への配置を検討する。
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業	【成果】 不登校訪問指導員や適応指導教室等での児童生徒や保護者への支援、学校と連携した取組は、不登校者の学校復帰や欠席日数の減少に効果が見られた。 【課題と対策】 該当者へ不登校訪問指導員や適応指導教室の働きかけを行っても、本人や保護者の理解が得られにくい。不登校になる前（登校しづらい状態、別室登校の段階）での対応に力を入れていく。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		※その他 新たな教育振興基本計画では、小学校・中学校別に不登校児童生徒の割合を記載する。
3	「心の健康チェック」推進支援事業	【成果】 「心の健康チェック」アンケートを毎月適切に実施している学校では、早期からの対応が可能となり、児童生徒の人間関係の把握や登校しぶりの改善に、ある程度の効果が見られた。 【課題と対策】 不登校の要因は、「人間関係」「学業の不振」など様々である。各学校では、生徒指導の充実と授業改善に取り組むと共に、「心の健康チェック」の適切な運用を図り、保護者との連携を密にしていく。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課
事務事業名	生涯学習事業		
教育大綱基本方針	誰もが、いつでも、どこでも学べる社会教育の推進		
基本目標	5 一人一人が学び続ける社会教育の充実 【施策 12 公民館活用機会の拡大】		
事業概要	・市民大学講座の開催 ・子育て、親育ち学級の開催		
対象	市民		
意図（目標）	人と人との学び合いやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人一人の人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
生涯学習・生涯スポーツ人材バンクの登録件数		件	71	130	38	50
算式	登録件数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民大学講座			228	500	(見込) 400	500
	指標	市民大学講座受講者数	人				
2	子育て、親育ち学級			187	150	(見込) 85	150
	指標	子育て、親育ち学級参加者数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	市民大学講座	【成果】 市民大学講座は、5回の講座で、延べ245人の参加があった。 【課題と対策】 9月については、講師先生の都合で急遽開催日が近くなってしまったが、受講生に負担とならないような日程調整をしながら来年度に向けて企画していきたい。2月に特別講座として世界遺産推進課と連携し、金銀山関係の講座を開催する予定。 また、例年全講座終了後に実施していたアンケートを次年度から1講座終了の都度実施することとし、よりニーズに合った講座内容とする。
2	子育て、親育ち学級	【成果】 子育て、親育ち学級は、5回の開催で、延べ52人の参加があった。 【課題と対策】 後期は、あと4回開催予定。前期は、全保育園に案内文書を配布し周知していたが情報が伝わっていないので、後期はフェイスブックやLINE等で情報発信をする。来年度に向けて参加者が増えるような内容の企画を検討する。 また、これまで実施していなかったアンケートを次年度から1講座終了の都度実施することで、ニーズに合った講座内容とする。

令和元年度の事務対象の中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課
事務事業名	スポーツ推進事業		
教育大綱基本方針	誰もが、いつでも、どこでも学べる社会教育の推進		
基本目標	5 一人一人が学び続ける社会教育の充実 【施策 13 スポーツ実施率の向上】		
事業概要	スポーツ推進審議会運営事業、スポーツ指導者講習会開催事業、スポーツ大会・教室等運営事業、スポーツ少年団支援事業等、市民のスポーツ推進のための企画、運営、指導、助言を行うとともに、スポーツ競技団体の育成、関係団体の組織体制強化を進める。		
対象	市民		
意図（目標）	・総合型地域コミュニティクラブの設立を目指すとともに、子どもから高齢者までのさまざまなニーズに対応できるスポーツ環境の充実を図る。 ・スポーツを通じて世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築く。 ・スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図る。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標					
目標（成果）指標			単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式				目標値	実績値	
成人のスポーツ実施割合			%	22	60	（見込） 22	25
算式	成人の週一回以上スポーツをする人の割合						

枝 番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	スポーツ教室等開催事業			1,916	2,000	（見込） 2,000	2,000
	指標	参加者数	人				
2	スポーツ指導者講習会事業			59	60	（見込） 60	60
	指標	参加者数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝 番	細事業名	成果及び課題と対策
1	スポーツ教室等開催事業	【成果】 各スポーツ教室等の参加者数1,482人。 【課題と対策】 上半期としては十分な参加者数であるが、より参加者が増加するようPR方法を工夫する必要がある。
2	スポーツ指導者講習会事業	【成果】 下半期に実施し、60人を見込んでいる。 【課題と対策】 新たなスポーツ活動に携わる指導者あるいは指導者候補への受講の拡大を図り、さらにスポーツ実施率の向上を図る。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課
事務事業名	読書推進事業		
教育大綱基本方針	誰もが、いつでも、どこでも学べる社会教育の推進		
基本目標	5 一人一人が学び続ける社会教育の充実 【施策 14 図書館・図書室の資料とサービスの充実】		
事業概要	図書館サービスの一環として、各種催しを行う。 ・ブックスタート事業・育児支援活動 ・子ども読書レベルアップ研修ほか各種事業実施 ・保育園、小学校、中学校、高校との連携（団体貸出他） ・図書館間相互貸借事業（県立図書館、新潟大学附属図書館、各公共図書館） ・幼児期から高齢者までを対象とした読書推進活動の実施		
対象	市民		
意図（目標）	・幼児期から高齢者まで本に親しんでもらうために、おはなし会や読書週間に多彩な事業を展開する。また、図書館から遠い地域に移動図書館車を運行し、読書の推進を図る。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
図書館利用者の登録率		%	29.6	35	(見込) 35	35
算式	有効登録者／佐渡市住基人口					
図書館・図書室の来館者数		万人	14.9	15	(見込) 15	15
算式	図書館・図書室への延来館者数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	移動図書館車運行事業			48	48	(見込) 48	50
	指標	移動図書館車の運行回数	回				
2	ブックスタート事業			275	365	(見込) 270	—
	指標	ブックスタート参加者数	人				
3	図書館間相互貸借事業			1,321	1,360	(見込) 1,400	1,450
	指標	市外図書館等からの借受冊数	冊				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	移動図書館車運行事業	【成果】 月1回図書館から遠い4地域や学校、保育園に対し移動図書館車を運行し、本の貸出等をしており、遠隔地の読書推進に貢献した。 【課題と対策】 利用の地域差があるものの貸出しは全体的に増加した。 今後は、市主催のイベント時などにも、移動図書館車の活用を検討したい。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	ブックスタート事業	【成果】 4 か月健診時に絵本をプレゼントすることで、親子の愛着形成や、本に親しむ具体的なきっかけを提供できた。 【課題と対策】 出生数減のため対象者数も減少しているため、今後の目標値は、人数ではなく配布率にすべきと考える。 3 歳児健診時の読み聞かせや図書館等での未就園児を対象とした読み聞かせ等を実施しており、その後も継続的に読書に親しめるようフォローアップ活動を続けたい。
3	図書館間相互貸借事業	【成果】 県内外の図書館等と連携し、利用者の求めに応じ、迅速に資料を提供することができた。 【課題と対策】 相互貸借事業がサービスとして定着してきている。一方で、利用者のニーズが多様化・高度化しており、対応する職員のスキルアップのため職場内研修が必要と考える。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課
事務事業名	博物館・資料館管理運営事業		
教育大綱基本方針	誰もが、いつでも、どこでも学べる社会教育の推進		
基本目標	5 一人一人が学び続ける社会教育の充実 【施策 15 博物館・資料館及び佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】		
事業概要	佐渡の歴史・文化・自然の調査研究と普及啓発活動を円滑に進める。		
対象	市民、国内外の観光客等		
意図（目標）	佐渡の歴史・文化・自然に対する来館者の理解を深めてもらう。		

◆D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
博物館、資料館及び類似する文化施設に入館した割合 （小・中）		%	25	60	（見込） 26	26
算式	入館した割合（小・中）					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	佐渡博物館特別展事業			6,573	7,000	（見込） 7,000	6,600
	指標	特別展開催期間中入館者数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	佐渡博物館特別展事業	【成果】 令和元年度に実施した特別展・企画展は以下の通り。 ・宮本常一写真で読む佐渡③「モノと暮らし」 ・竹芸 ― 本間一秋・秀昭二人展 ― ・佐渡博物館新規収蔵資料展（R2年3月15日まで実施中） 特別展・企画展を実施したことで、市内外の来館者に今と昔の佐渡の様子、佐渡の美術工芸のすばらしさを発信することが出来た。 新規収蔵資料展については、博物館活動と近年の収蔵資料について、一層の周知を図る。 【課題と対策】 常設展示を更新し、多くの方が理解しやすい年間を通じたテーマを設定することによるストーリー性を持たせ、リピーターも楽しめる展示と、効果的な周知により集客に努める。 1階展示室（現：佐渡金銀山展示室）及びホールの活用を再検討し、ハンズオン資料の展示や資料の相互貸借（移動博物館）等により「参加・体験型」博物館として特色ある佐渡の魅力を発信する。 来館者の満足度の調査を行なうため、来館者へアンケートを行い、市民ニーズに合う博物館の展示や施設整備に努める。 博物館資料を活用した、出前事業、現地学習、地域学習を行い、郷土を知る学習の機会に努める。 無料開放の日を設け、文化や歴史を学習する機会を提供する。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		※その他 新たな教育振興基本計画では、文化施設に入館した人数に変更する。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課
事務事業名	ジオパーク推進事業		
教育大綱基本方針	誰もが、いつでも、どこでも学べる社会教育の推進		
基本目標	5 一人一人が学び続ける社会教育の充実 【施策 15 博物館・資料館及び佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】		
事業概要	・推進協議会事業（構想、方向性、実施計画等の策定） ・市民等啓発普及運営事業 ・普及資料作成事業 ・拠点（ジオサイト）整備事業 ・講演会、シンポジウム ・推進情報交換事業 ・調査研究事業		
対象	市民 国内外の観光客等		
意図（目標）	島に残る貴重な地質遺産などを市民講座や学校・PTA行事、住民同士や観光客との交流を通して理解してもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ジオパーク推進事業に携わった人数		人	4,328	5,000	（見込） 3,651	5,000
算式	人数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民等啓発普及運営事業			1,290	2,000	(見込) 1,300	2,000
	指標	市民講座や地域説明会に参加した人数	人				
2	講演会・シンポジウム			2,677	2,000	(見込) 2,099	2,000
	指標	講演会やシンポジウムに参加した人数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価		
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	市民等啓発普及運営事業	【成果】 佐渡ジオパークの普及啓発とガイドの養成につながる市民講座について、各種コースを設けて開催した。 地域における学習会を、地域や集落、地区公民館からの要請を受け、延べ27ヶ所（10月末現在）で開催して市民への啓発に努めた。 【課題と対策】 市民講座の参加者層を分析し、ニーズに合わせたコースを設定し、幅広い市民が参加できるよう工夫する。 地域学習会は、参加者の反応を見ながら継続実施に向けターゲットを絞込み、腰を据えて対話を重ねる参画型の連携も増やしていく。	
2	講演会・シンポジウム	【成果】 金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」とのコラボによる、市民を対象とした講演会を実施し、金銀山とジオパークとのつながりについて理解を深めた。 小中学校からの依頼に基づく出前授業（講義）については、当初計画の延べ30回開催という目標を達成することができた（10月末現在）。 【課題と対策】 出前授業については、複数回実施した学校も見られたが、未実施の学校もまだまだ見られ、全島的な取組とするため、校長会などの場を活用して積極的に働きかけていく。	

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課
事務事業名	社会教育事業		
教育大綱基本方針	家庭・地域がそれぞれの役割を適切に果たす家庭教育・地域教育の充実		
基本目標	6 家庭教育・地域教育充実のための取組の推進 【施策 17 家庭や地域の教育力向上のための取組】		
事業概要	各小中学校に地域コーディネーターを配置し、地域の人材を活用して連携・協働することにより、子どもたちの学習等を支援するなど、地域との連携を推進する。		
対象	児童、生徒、学校、地域、保護者		
意図（目標）	「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させる。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
子どもを育てる地域の連携促進事業（新潟県学校・家庭・地域の連携促進事業）取組校数		校	27	35	35	35
算式	取組校数					

枝 番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度（評価年度）		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	子どもを育てる地域の連携促進事業（新潟県学校・家庭・地域の連携促進事業）			27	35	35	35
	指標	取組校数	校				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝 番	細事業名	成果及び課題と対策
1	子どもを育てる地域の連携促進事業（新潟県学校・家庭・地域の連携促進事業）	【成果】 地域学校協働活動では、全校に地域コーディネーターを配置し、学校支援・学習補助・読み聞かせ等の活動を実施している。放課後子ども教室は、今年度から八幡小が新たに加わり4教室が取り組みを行っている。 【課題と対策】 全ての学校が活動を実施することにより、コーディネーターの育成、学校の理解と協力が必須となる。そのため研修会等を開催し情報共有を行い支援していくことが必要である。 また来年度、家庭教育支援活動について、佐渡市版の「家庭教育の手引き」を作成し配布するように努める。

令和元年度の事務対象 中間評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課・社会教育課
事務事業名	学校教育振興事業		
教育大綱基本方針	家庭・地域がそれぞれの役割を適切に果たす家庭教育・地域教育の充実		
基本目標	6 家庭教育・地域教育充実のための取組の推進 【施策 17 家庭や地域の教育力向上のための取組】		
事業概要	・家庭教育の啓発活動を推進する。 ・コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進める。		
対象	教職員、児童、生徒、保護者		
意図（目標）	・児童生徒の健全育成と学習習慣の確立を目指し、P T Aや公民館等において家庭教育の啓発活動を推進する。 ・「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させるとともに「コミュニティ・スクール」の設置を目指す。		

◆ D o		事務事業の目標（成果）指標				
目標（成果）指標		単位	30年度 実績値	元年度(評価年度)		2年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
P T Aで家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）		%	86	100	83	100
算式	実施校数／市内小中学校数					
コミュニティ・スクールの設置数（小・中）		校	4	15	14	35
算式	設置数					

枝番	事務事業を構成する主な細事業			30年度 実績値	元年度(評価年度)		2年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	コミュニティ・スクール実施予定校への説明会			4	15	14	35
	指標	説明会実施校数	校				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会			4	3	3	3
	指標	研修会数	回				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	コミュニティ・スクール実施予定校への説明会	【成果】 令和2年度35校設置に向けて、モデル校を中心に訪問し、支援を行った。結果、コミュニティ・スクール実施校が14校に増加した。 【課題と対策】 コミュニティ・スクールの実施に向けて、協議会の立ち上げ、運用の明確化を進めていく。
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会	【成果】 制度の専門家である下越教育事務所や新潟県生涯学習課の指導主事を講師に研修会を実施した。教職員だけでなく、地域コーディネーターやC Sディレクターも一緒に参加しての研修会を実施できた。 【課題と対策】 具体的な運用に向けて今後も研修会を実施していく。

評価

施策実施上注目すべき数値の一覧

見込み

基本目標	施策	指標	H28 数値	H31 目標値	H31 数値	
1	1	「全国学力・学習状況調査」で全国平均以上の教科・科目の割合（小・中）	25%	75%	40%	3月中旬
	1	標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）	84%	90%	%	
	1	児童生徒の家庭学習習慣の確立について、全校体制で取り組んでいる学校の割合（小・中）	100%	100%	100%	
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合（小・中）	95%	100%	100%	1学期末
	2	人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）	76%	100%	100%	
	3	全国体力調査で全国平均以上の項目数（小・中）	84%	90%	94%	
	3	栄養教諭・学校栄養職員が参画した食に関する授業を実施している割合（小・中）	68%	90%	86%	
	3	学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）	27.5%	30%	18.5%	
	4	学校からの要望に対する介助員の配置割合（小・中）	100%	100%	100%	
	4	「個別的教育支援計画」を作成している割合（小・中）	77%	100%	100%	
	5	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）	97%	100%	100%	
2	6	「佐渡学」を実施している割合（小・中）	100%	100%	100%	
	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）	23%	100%	100%	
	6	全学年で「佐渡市学校教育におけるキャリア教育のグランドデザイン」に基づき、キャリア教育を実施している割合（小・中）	73%	100%	100%	
	7	小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合	100%	100%	100%	
	7	I C Tの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）	24%	50%	54%	
3	8	学校の耐震化率（小・中）	97%	100%	99%	
	8	通学路点検の実施割合（小・中）	100%	100%	100%	
	8	防災教育の実施割合（小・中）	73%	100%	89%	
	9	いじめの解消率（小・中）	95%	100%	88%	
	9	不登校の発生率（小・中）	2.1%	1.5%	2.1%	
	9	教育相談や生徒指導に関する研修の実施割合（小・中）	100%	100%	100%	
4	10	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）	62%	100%	83%	
	10	I C Tシステムを活用した研修会の実施回数（小・中）	3回	7回	14回	
	11	大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）	30%	60%	43%	
	11	海外研修支援の件数	2件	4件	0件	
5	12	生涯学習・生涯スポーツ人材バンクの登録件数	38件	130件	38件	
	13	成人のスポーツ実施割合	50%	60%	22%	
	14	図書館利用者の登録率	33.1%	35%	35%	
	14	図書館・図書室の来館者数	13.4万人	15万人	15万人	
	15	博物館、資料館及び類似する文化施設に入館した割合（小・中）	45%	60%	26%	
	15	ジオパーク推進事業に携わった人数	3,789人	5,000人	3,651人	
	16	イベントを通して民謡に対するイメージが良くなった割合	80%	90%	—%	
6	17	P T Aで家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）	78%	100%	83%	
	17	子どもを育てる地域の連携促進事業（新潟県学校・家庭・地域の連携促進事業）取組校数	13校	14校	35校	
	17	コミュニティ・スクールの設置数（小・中）	0校	1校	14校	
	18	幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（保幼・小・中）	100%	100%	100%	